

## 3.6 初期設定をしよう

インターネットに接続できたら、次は時計の設定や日本語の設定をしましょう。  
まず、日本語フォントのダウンロードを行います。画面の左上のLXTerminalのアイコンをクリックし、LXTerminalを開きましょう。



図 3.6.1 LXTerminal アイコン

以下のようなウィンドウが現れます。

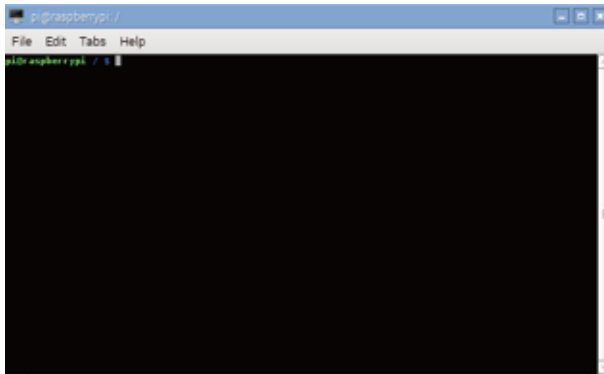


図 3.5.12 LXTerminal 画面

これからこの LXTerminal 上での作業が多くなりますので、開き方を覚えておきましょう。

次に以下のコマンドを入力し、[Enter] をクリック。

コマンドリスト 3.6.1

```
pi@raspberrypi ~ $ sudo apt-get update
```

```
pi@raspberrypi ~ $ sudo apt-get update
Hit http://archive.raspberrypi.org wheezy Release.gpg
Hit http://mirrordirector.raspbian.org wheezy Release.gpg
Hit http://raspberrypi.collabora.com wheezy Release.gpg
Hit http://mirrordirector.raspbian.org wheezy Release
Hit http://raspberrypi.collabora.com wheezy Release
Hit http://archive.raspberrypi.org wheezy Release
Hit http://mirrordirector.raspbian.org wheezy/main armhf Packages
Hit http://raspberrypi.collabora.com wheezy/rpi armhf Packages
Hit http://mirrordirector.raspbian.org wheezy/contrib armhf Packages
Hit http://archive.raspberrypi.org wheezy/main armhf Packages
Hit http://mirrordirector.raspbian.org wheezy/non-free armhf Packages
Hit http://mirrordirector.raspbian.org wheezy/rpi armhf Packages
Ign http://raspberrypi.collabora.com wheezy/rpi Translation-en_US
Ign http://raspberrypi.collabora.com wheezy/rpi Translation-en
Ign http://archive.raspberrypi.org wheezy/main Translation-en_US
Ign http://archive.raspberrypi.org wheezy/main Translation-en
Ign http://mirrordirector.raspbian.org wheezy/contrib Translation-en_US
Ign http://mirrordirector.raspbian.org wheezy/contrib Translation-en
Ign http://mirrordirector.raspbian.org wheezy/main Translation-en_US
Ign http://mirrordirector.raspbian.org wheezy/main Translation-en
Ign http://mirrordirector.raspbian.org wheezy/non-free Translation-en_US
Ign http://mirrordirector.raspbian.org wheezy/non-free Translation-en
Ign http://mirrordirector.raspbian.org wheezy/rpi Translation-en_US
Ign http://mirrordirector.raspbian.org wheezy/rpi Translation-en
Reading package lists... Done
pi@raspberrypi ~ $
```

図 3.6.3 「sudo apt-get update」を実行した様子

ワンポイント👉

● apt-get

「apt-get」は、パッケージ（ソフトウェアのインストールに必要なファイルをまとめたもの）を管理・操作するための Linux コマンドです。新しいソフトウェアをインストールするときにはたびたび使用するコマンドなので覚えておきましょう。

まず、「apt-get update」コマンドで、サーバーから最新のパッケージリストを入手します。その後、「apt-get install "インストールしたいソフトウェア"」コマンドで、目的のソフトウェアをダウンロードしインストールします。

## ● sudo

「sudo」はスーパーユーザー（管理者）として実行する、という意味をもちます。コンピュータには、誰もが見たり書きかえたりできることと、決まった人しか見たり書きかえたりできないことがあります。今回のように、一般ユーザでログインしているときに、新しいソフトウェアをインストールする場合は、「sudo」を使います。

## ● 日本語フォントのダウンロード

日本語フォント（fonts-takao）、および日本語入力ソフト（ibus-mozc）のダウンロードをするため、以下のコマンドを入力します。

コマンドリスト 3.6.1

```
pi@raspberrypi ~ $sudo apt-get install fonts-takao ibus-mozc
```

## ● 環境設定

左上の [Menu] から [Preferences]→[Raspberry Pi Configuration] をクリックします。



図 3.6.4 メニューから設定画面を開く

[Localisation] タブを選択し、[Set Locale] を選びます。



図 3.6.5 環境設定画面

Language:ja(Japanese)、Country:JP(Japan)、Character Set:UTF-8 を選択し [OK] をクリック。



図 3.6.6 言語の設定

このとき、Timezone や Keyboard、WiFi Country も設定しておきましょう。

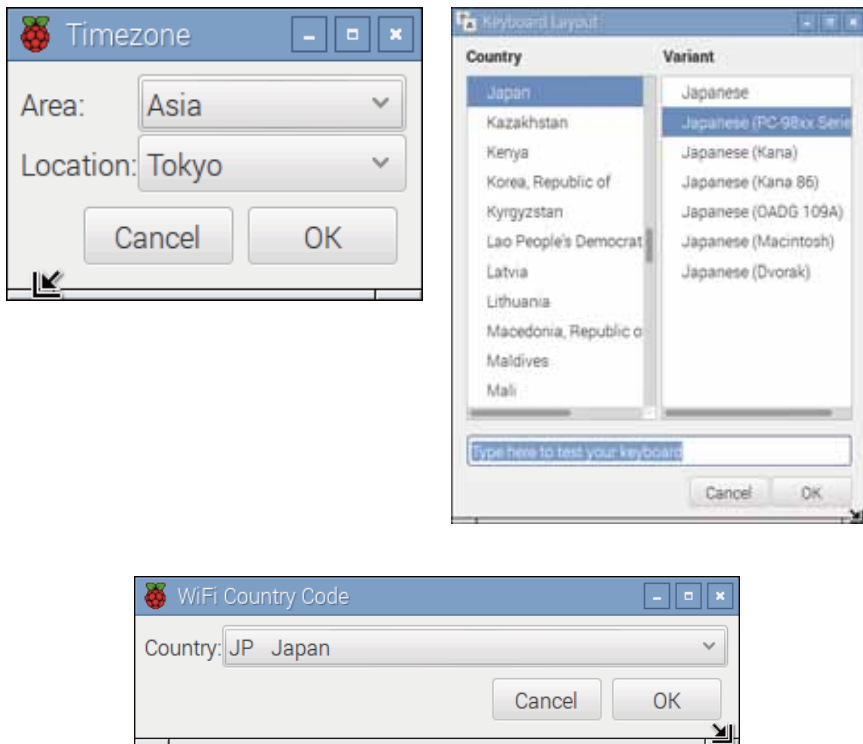


図 3.6.7 タイムゾーン、キーボード配置、WiFi の設定

設定後 [OK] をクリックすると、再起動しますかの問いかけが出るので [Yes] をクリックし、再起動します。

再起動後、日本語のメニューなどが表示されたでしょうか？

先ほどの設定で、時刻も日本時間にセットされました。

最後に日本語入力の設定を行います。

[Menu] → [設定] → [IBus の設定] を開きます。



図 3.6.8 IBus の設定を開く

[入カメソッド] タブを選択し、[追加] をクリックし、日本語 → Mozc を選択します。

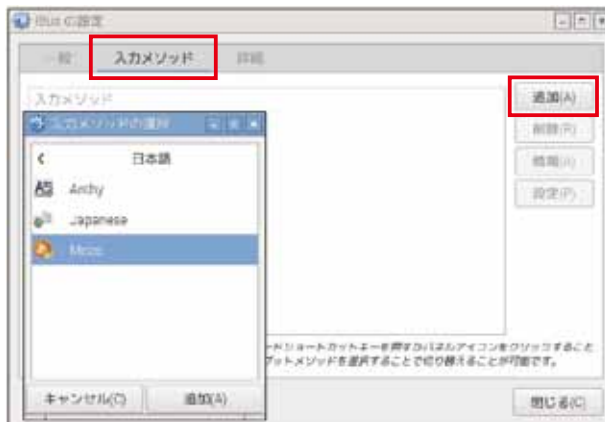


図 3.6.8 IBus の設定を開く

入カメソッドに日本語 → Mozc が追加されたでしょうか？

画面右上のメニューバーにも「あ」のアイコンが表示されていれば設定完了です。

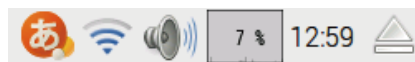


図 3.6.10 メニューバーに日本語入力アイコンが追加された

確認のため、[Menu]→[アクセサリ]→[TextEditor] を立ち上げ、半角/全角キーを押して日本語入力してみましょう。

入力できれば OK です。

これで初期設定は完了です。

### 3.7 インターネットに接続してみよう！～ウェブブラウザ編～

Raspbian という OS には、インターネットにアクセスするために、あらかじめいくつかのブラウザが収録されていますが、より使い勝手の良い Chromium というブラウザをインストールしてみましょう（最新版の RaspbianOS の Jessie では Chromium のインストールできませんので付属のブラウザでインターネットを楽しみましょう。以下は読み飛ばしてください）

コマンドリスト 3.7.2

```
pi@raspberrypi ~ $sudo apt-get install chromium chromium-l10n
```

```
pi@raspberrypi ~ $ wget http://os.archlinuxarm.org/armv7h/alsa/chromium-pepper-flash-12.0.0.77-1-armv7h.pkg.tar.xz
--2016-02-19 18:35:16-- http://os.archlinuxarm.org/armv7h/alsa/chromium-pepper-flash-12.0.0.77-1-armv7h.pkg.tar.xz
Resolving os.archlinuxarm.org (os.archlinuxarm.org)... 50.116.36.110
Connecting to os.archlinuxarm.org (os.archlinuxarm.org)[50.116.36.110]:80... connected.
HTTP request sent, awaiting response... 302 Found
Location: http://sg2.mirror.archlinuxarm.org/armv7h/alsa/chromium-pepper-flash-12.0.0.77-1-armv7h.pkg.tar.xz [following]
--2016-02-19 18:35:16-- http://sg2.mirror.archlinuxarm.org/armv7h/alsa/chromium-pepper-flash-12.0.0.77-1-armv7h.pkg.tar.xz
Resolving sg2.mirror.archlinuxarm.org (sg2.mirror.archlinuxarm.org)... 137.132.155.168
Connecting to sg2.mirror.archlinuxarm.org (sg2.mirror.archlinuxarm.org)[137.132.155.168]:80... connected.
HTTP request sent, awaiting response... 200 OK
Length: 6750584 (6.4M) [application/octet-stream]
Saving to: 'chromium-pepper-flash-12.0.0.77-1-armv7h.pkg.tar.xz'

100%[=====] 6,750,584 200K/s in 28s

2016-02-19 18:35:48 (235 KB/s) - 'chromium-pepper-flash-12.0.0.77-1-armv7h.pkg.tar.xz' saved [6750584:6750584]

pi@raspberrypi ~ $
```

図 3.7.3 「sudo apt-get install…」を実行した様子

これでインストール自体は完了ですが、せっかくなので動画（Flash）の設定も行いましょう。LX Terminal 画面のまま、以下のコマンドを入力します。

コマンドリスト 3.7.5（改行はしないで入力してください）

```
pi@raspberrypi ~ $sudo cp usr/lib/PepperFlash/libpepflashplayer.so /usr/lib/chromium/plugins/
```

